今月のテーマ「11月から12月までの勉強」

「点を取る勉強」への切り替え
残り日数から逆算して、やることを決めよう

朝晩の冷え込みが増し、受験生活も後半戦に入りました。志望校の候補が見えてきた今、次に取り組むのは「合格点を取るための勉強」です。

体調に気をつけながら、毎日を過ごせていますか。今回は、冬休みに入る前までの約２か月間を、得点に結びつけるための勉強法を、過去問の使い方から生活リズムまで具体的に紹介します。



志望校の候補が見えてきたこの時期、気持ちはすでに次の段階へ進み始めているはずです。11月から12月にかけては、新しいことを増やす勉強から、持っている力を点数に変える勉強へと切り替わっていきます。

手を広げて安心するのは、もう終わりにしましょう。必要なのは、入試で出る形に合わせて練習し、取りこぼしをひとつずつ減らしていくことです。

まず、カレンダーで引き算をする

入試日から逆算して、残りの日数を数えてみてください。次に、日曜日や学校行事、定期テストの期間を引いていきます。実際に勉強へ使える日が、思っていたより少ないことに気づくでしょう。

これは皆さんをあせらすための計算ではありません。「時間が足りない」という漠然とした不安を「あと何日で何をするか」という具体的な目標に置き換えるための作業です。

過去問は「腕試し」ではなく「下見」

過去問は、点数を競うためのものではありません。志望校がどんな問題を、どんな順番で、どれだけの時間で出してくるのかを実際に体験しながら確かめる「下見」です。

初めて解くときは、点数よりも自分の様子を観察しましょう。どの大問で時間を使い過ぎたか、何問目から焦り始めたか、解けない問題に出会ったときどう動いたか。解答用紙の端に書き留めておくと、あとで必ず役に立ちます。

２回目からは本番と同じ開始時刻、同じ制限時間で解きます。解く順番を決めておくことも大切です。難しい問題で立ち止まるより、取れる問題を先に確実に取るほうが、合計点は伸びます。

ミスを分類してみる

模試や過去問で間違えた問題は、ただ解き直すだけでは足りません。「なぜ『×（バツ）』だったのか」を分けてみてください。「知識不足」、「勘違い」、「時間配分（不足）」の三つです。

理由が分かれば、対策も変わります。知識不足なら、教科書や参考書で確認し直す。勘違いや読み違いなら、問題文に線を引く習慣をつける。時間配分（不足）なら、解く順番を見直す。同じ『バツ』でも、修正する方法はまるで違うのです。

特に「あと少しで正解だった」問題の対策は欠かせません。うっかりミスは知識ではなく習慣で減らせるので、見直しの手順を決めて、毎回同じ順で確認しましょう。

二学期の成績も、まだ動かせる

受験勉強に集中するあまり、学校のことが後回しになる人がいます。ところが二学期の定期テストや提出物の評価は、調査書に反映される場合が多いのです。扱いは学校や地域によって違うので、担任の先生に確認しておくと安心です。

入試本番の前に、確実に点を積み上げられる機会がまだ残っています。定期テストの範囲は狭く、準備した分だけ結果に出ます。また期限を守って出す提出物は、努力がいちばん確実に評価される場面です。

夜型から朝型への転換も意識して

入試は多くの場合午前中に始まります。ところが夜遅くまで勉強している人ほど、朝は頭がぼんやりしがちです。

しかし、確実に合格を手に入れるためには、朝の1時間目（1教科目）からクリアな頭で問題に挑まなくてはなりません。一般に、夜型から朝型への切り替えは数週間程度と言われています（個人差あり）。ですから、まだそれほど急ぐ必要はないかもしれませんが、夜が中心の人はどこかのタイミングで朝中心に切り替える必要があります。

これから冬にかけては風邪やインフルエンザも流行します。手洗いやうがい、食事、睡眠は、受験生にとって立派な「勉強道具」です。体調を保つことも合格のための大事な仕事です。

不安は「見える化」で今週の課題に変わる

入試が近づくと、不安が大きくなるのは自然なことです。不安の多くは、自分でもその実態が見えていないことが多いのです。気になることがあれば、頭の中に置いておかず、紙に書き出してみましょう。「英語の長文が遅い」「理科の計算が苦手」といった形で。つまりこれは「不安の見える化」です。これにより不安は今週の課題に変わります。

今日の1問、今日の1ページが、冬休みの勉強の土台になります。12月の終わりに「あのとき始めておいてよかった」と言えるように。焦らず、でも止まらずに進んでください。

ys media
【よみうり進学メディア】
https://ysmedia.jp/

発　行／©(株)読売アルスA
東京都千代田区富士見2-1-12
03-5226-9915

編集協力／岩佐教育研究所
(株)メディアバンクス

2026年 埼玉版11月号

特集　これが高校の授業だ　2・3面
県立草加東高校　大妻嵐山高校
県立川口高校　西武学園文理高校

第一回進路希望調査結果（10月1日時点）　4面
埼玉県内私立高校の動向

面接対策アドバイス　5面
マークシート方式導入
受検するときの注意点は？

受験生の疑問に答えるQ＆A　6面

特別寄稿　7面
授業料無償化で広がる選択肢
私立高でかなえる確かな未来

埼玉県入試情報　8面
令和９年度公立入試の注目点

心を鍛え、育てよう!!
獨協埼玉高校　陸上競技部

部活動 PICK UP!!



本校陸上競技部は人としての成長を１番の目標として、日々活動しています。
様々な努力により身につけた力を、他の誰かの為に使えるよう、自分を鍛え、磨いています。
常に謙虚さと感謝を忘れず、これからも関東・全国大会にむけて頑張っていきます。

（文・写真：学校提供）

北辰テスト
志望校 まだ迷ってる人も！ もう決めた人も！
希望者は学校選択問題タイプ（数学・英語）を体験できる！
中3対象　3年7回
12/6（日）実施
申込受付中！ 11/15（日）まで
北辰テストの受験には北辰マイページの登録が必要です。

心 素直に、知性 輝く。
本庄東高等学校
イベントの詳細・申込はこちら
【受験相談会】
11/14(土)　11/21(土)
11/22(日)　12/12(土)
12/20(日)　12/25(金)
12/26(土)
【地区別相談会】
11/15(日)　・熊谷文化創造館 さくらめいと
11/22(日)　・秩父地場産センター ・クレアこうのす
11/23(月・祝)　・高崎市総合福祉センター
12/13(日)　・太田市市民体育館
【入学試験日程】
第1回：1/22(金) 第2回：1/23(土) 第3回：2/5(金)
※ご予約は本校ホームページにて受け付けております。
住所 〒367-0022 埼玉県本庄市日の出1-4-5　URL http://www.honjo-higashi.ed.jp
電話 0495-22-6351　FAX 0495-22-6333　E-mail mailadm@honjo-higashi.ed.jp



令和8年度　大学合格実績
●国公立…27名　●早慶上理…15名　●GMARCH…92名　●成成明学獨國武…59名
予約制
学校見学説明会（当日参加も可）
11/22（日）
10:00～11:30
予約不要
入試個別相談会
11/28（土）13:30～16:30
12/12（土）9:00～12:00
12/26（土）9:00～12:00
狭山ヶ丘高等学校
TEL 04-2962-3844
〒358-0011
埼玉県入間市下藤沢981
■西武池袋線武蔵藤沢駅より徒歩約13分
無料スクールバス運行
川越駅・狭山市駅・入曽駅・箱根ヶ崎駅



【一橋大、北海道大、東北大(2)、九州大、東京科学大、など
国公立 96(現役86)名合格!】
早慶上理　69名
G-MARCH　164名
医学部医学科　5名
入試説明会「共栄のすゝめ 弐」
11月14日(土) 10:00～11:30
個別相談会
11月21日(土)
11月28日(土)
12月19日(土)
9:00～12:00
13:00～15:00
※日程等変更の可能性がありますのでホームページにてご確認ください
春日部共栄高等学校
〒344-0037 埼玉県春日部市上大増新田213 TEL.048-737-7611
東武「春日部駅」西口よりスクールバス運行（所要7分）
https://www.k-kyoei.ed.jp/hs/

特集 これが高校の授業だ

本紙編集部が公私立４校の授業を参観してきました。その様子をリポートします。
授業の内容は中学校に比べ一段と難しく、進度も早いという印象でしたが、教室の雰囲気は明るく、先輩たちは楽しそうに授業を受けていました。

国語の授業
言葉を手がかりに考える授業
県立草加東高校（草加市）



県立草加東高校で、3年生の「論理国語」の授業を見学しました。担当は赤井律紀先生。教科書で取り上げているのは、野矢茂樹氏の評論『猫は後悔するか』です。猫の話から、言葉と人間の思考の関係へ。高校の国語には、こんな学びもあります。

難しい概念を身近な言葉で

この日のテーマは「論理空間を開く」。哲学者ヴィトゲンシュタインの「論理空間」という概念を、生徒たちが自分で考え、体験する授業です。

論理空間とは、現実に起きたことだけでなく、起こらなかったけれど起こりえたことも含む、可能性の広がりです。そう聞くと難しそうですが、赤井先生は身近な言葉から考えさせます。

例えば「私は空を飛ぶ」。普段の生活ではできないことでも、言葉にすれば、その場面を思い浮かべることはできます。現実には起きていないことと、言葉の意味が矛盾していることは違うのです。

先生が目指したのは、用語の意味を覚えるだけでなく、言葉によって考えられる世界が広がることに気づく学びでした。

考えたことを言葉にする

授業中、先生は生徒同士で話し合うよう繰り返し促します。説明を聞き、前提を理解したら、自分で考え、外に伝える。知識を受け取る「インプット」とともに、話したり書いたりする「アウトプット」を大切にしています。

赤井先生が生徒に伝えているのは「考えないことが唯一の間違い」という言葉です。間違いを恐れず発言できる環境を1年生の時からつくってきました。

友達に説明しようとすると、わかったつもりだったことが、うまく言えない場合もあります。言葉を探し、考え直すことも学習です。他の人の考えに触れると、自分とは違う見方があることにも気づけます。話し合いは、答えを確認するだけでなく、理解を深める時間でもあるのです。

書くことも思考の訓練

ノートを書くことにも力を入れています。教科書の抽象的な内容を自分の生活に結びつけ、手を動かして整理することが大切だからです。1年生からの積み重ねによって、今ではほとんどの生徒が他の人にも読めるノートを作れるようになったそうです。

育てたいのは、先生がいなくても文章を読み解き、自分の考えを書ける力です。文章を通じて他者の考えや人生に触れ、自分の思考を深めることも国語の大切な学びです。



生物の授業
身近な野菜から学ぶゲノム編集
大妻嵐山高校（嵐山町）



大妻嵐山高校で、2年生の「生物」の授業を見学しました。担当は鈴木一也先生。大妻女子大学への内部進学を目指す生徒が多い「大妻進学」クラスの授業です。この日は、野菜を例に「ゲノム編集」という技術について学んでいました。

トマトの立場で考えてみる

ゲノム編集は、生物の遺伝情報を狙って変える技術です。難しそうな内容ですが、先生はトマトが話すように説明します。野菜を登場人物にして、その立場から考えることで、目に見えないしくみをイメージしやすくしていました。

生徒たちは、遺伝子を扱う技術の基礎をすでに学んでいます。この時間はトマトなどの身近な野菜を手がかりに、その技術を使うとどんな変化が起こるのかを考えました。

すぐに聞き合える座席

教室の雰囲気は和やかです。生徒は好きな場所に座り、2人、3人で集まっています。これは気心の知れた友達に、わからないことを気軽に聞けるようにする工夫です。

「こんなことを聞いてもいいのかな」とためらう時も、近くに友達がいれば相談しやすくなります。困ったらすぐに助け合える。先生は、そんな対話の生まれる授業を目指しています。

聞く時間と書く時間を分ける

先生の説明には、生徒がノートやタブレットに書き込むのを待つ「間」があります。書くことに集中している時は、話が耳に入りにくいもの。だからこそ説明を区切り、記録する時間を確保しているのです。

特に聞いてほしいのは、黒板の内容をかみくだいて説明する部分です。板書は後から見直せても、口頭の説明は聞き逃してしまうと戻れません。聞くことと書くことの両方を大切にした授業でした。

また生物のしくみを伝えるために、先生は黒板に絵をよく描きます。生徒も手を動かして図や言葉を整理し、学んだ内容を自分のものにしていきます。

鈴木先生は、大学で生物・医療・工学に関わる分野を学び、大学院では脳の血流などを研究しました。生物のしくみをどう伝えれば理解しやすいか。日々の授業の説明にも絵や身近な例を使い、生徒が聞いたことを自分の頭で整理できるように工夫しています。

先生が育てたいのは、何でもそのまま信じず、一度立ち止まって考える力です。生物の専門知識を使う仕事に就かなくても、情報をうのみにせず、自分で判断する力は、どんな進路でも役立ちます。

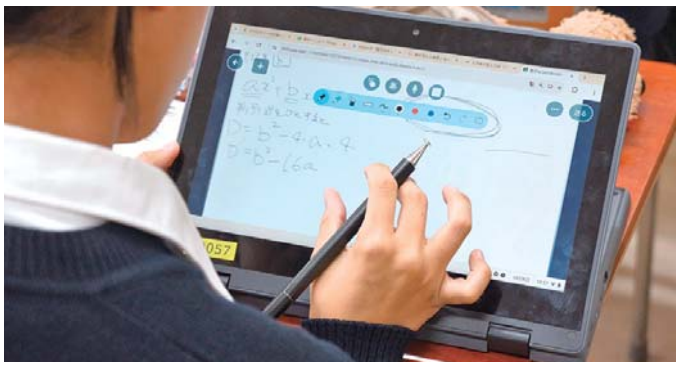








数学の授業
解き方を伝え合い数学の理解を深める
県立川口高校（川口市）



県立川口高校で、1年生の「数学Ⅰ」の授業を見学しました。担当は菊川理先生です。この日は、すでに学んだ「二次不等式」を復習し、発展的な問題に挑戦する授業でした。

少人数で学ぶ高校数学

同校では、1年生の数学Ⅰで1クラスをふたつに分けて授業を行っています。成績によって分ける習熟度別ではありません。高校の数学を学び始める時期に一人ひとりの理解を深め、知識をしっかり定着させるための少人数指導です。

この日の授業では生徒同士が自由な形で集まり、意見を交わしていました。先生の説明を聞いて「わかった」と思っても、いざ自分で問題を解くと手が止まることがあります。そこで先生は、演習と話し合いの時間を多く取っています。

説明する人も学んでいる

わからないところを友達に質問すれば、解くための手がかりが見つかります。一方、教える側にも学びがあります。自分がどう考えたかを言葉にして説明することで、理解をさらに深められるからです。

このクラスは活発に意見を交換できる生徒が多いため、グループの作り方は自由です。別のクラスでは先生が組み合わせを考えることもあるそうです。生徒の様子に合わせ、全員が学びに参加できるように工夫しています。

答えにたどり着くまで支える

印象的だったのは、指名された生徒がよく答えていたことです。菊川先生は生徒が「わからない」と言っても、そこで終わりにしません。ヒントを出しながら、自分で答えにたどり着けるように支えます。

解答の共有には協働学習・授業支援プラットホーム「ロイロノート」を使っていました。生徒が手元で作成した解答を、すぐにクラス全体で見ることができます。共有した解答は家で復習する時にも確認できます。

予習は特に求めていません。復習の宿題は週に1回程度出しています。先生は「歯磨きレベルで毎日やるように」と伝えているそうです。授業で理解したことを、そのままにせず自分で解き直す。毎日の習慣として数学に触れることも大切です。

数学で身につく説明する力

先生が数学を通じて育てたいのは、論理的に考える力です。筋道を立てることは文章を書いたり、自分の意見を発表したりする時にも役立ちます。友達に解き方を伝えることも、その練習になります。問題の答えだけでなく、そこに至る考え方を大切にする授業でした。



公共の授業
生徒の質問が授業を動かす
西武学園文理高校（狭山市）



西武学園文理高校で、クリエイティブクラス2年生の「公共」の授業を見学しました。担当は田原友先生です。憲法をめぐる裁判について、グループで調べた成果を発表していました。

質問が止まらない

授業前、先生は50分で3グループが発表できると予想していました。発表時間の制限は厳しくありません。実際に発表できたのは2グループでした。質疑応答で次々に質問が出たためです。

聞く側の生徒も発表を受け止め、疑問を投げかけます。発表者だけが活躍する時間ではなく、質問する生徒も授業をつくる一員です。予定した数の発表が終わらなかったことに、かえって生徒たちの参加意欲と教室の熱気が表れていました。生徒が授業の主役でした。

裁判から社会を考える

「公共」は、私たちが社会の一員としてどう生きるかを考える科目です。今回の学習では、主に憲法に照らして認められるかどうかが争われた裁判など、約9つのテーマを扱っています。

NHKの受信料や空港の騒音、思想の自由をめぐる裁判もあります。中学校で学んだ憲法の知識を土台に、実際の社会で何が問題となったのかを調べます。

発表に向け4時間の準備

テーマが与えられてから発表まで、準備には授業4時間分を使います。資料を調べ、内容を理解し、聞く人に伝わるようにまとめます。田原先生のこのクラスでの授業は、8割以上がこうした活動を中心としています。

みんなで納得できる答えを探す

田原先生が大切にしているのは「納得解」です。社会には、ひとつの正解に決められない問いがたくさんあります。自分の意見を持つとともに、人の話も聞き、話し合いながら考えを深めていきます。

異なる意見に触れれば、自分が見落としていた点に気づくこともあります。なぜそう考えるのかを説明し、互いに理解できる答えを探すことが大切なのです。

先生も新しい授業に挑戦

教員として20年以上の経験を持つ田原先生も、このクラスの担当になったことをきっかけに授業の方法や教育観を見直したそうです。次は正式なルールに沿ったディベートにも初めて挑戦する予定です。

学校では外部講師による研修や、先生同士で授業を見学して助言する取り組みも進めています。生徒が学び、先生も学ぶ。生徒の声が響く授業を支える工夫がありました。









埼玉県「進路希望調査結果（10月1日現在）」発表

市立川越2・84倍 さいたま市立浦和2・82倍 川口市立2・70倍など

埼玉県教育局は2026年10月29日「令和9年3月中学校等卒業予定者の進路希望調査（10月1日現在）」の結果を発表しました。この調査は、県内の中学校等卒業予定者について、その進路希望状況を明らかにする目的で実施するものです。

「進路希望調査」は例年、10月1日時点と12月15日時点の2回実施されます。

今回は、2026年10月1日現在で実施した「令和9年3月中学校等卒業予定者の進路希望状況調査」の結果を発表したものです。

12月に実施される「2回目の調査」は、1月中旬に発表される予定です。継続して確認するようにしましょう。

■調査の概況

1 進路希望状況の概況

・高等学校等進学希望者の割合は97・4％で、前年同期と同率でした。（表2行目）

・また、進学希望校未定者を合わせた高等学校等進学希望者総数の割合は99・0％で、前年同期より0・1ポイント低下しました。（表19行目）

・全日制高校への進学希望者の割合は87・9％で、前年同期より0・7ポイント低下しました。（表3行目）

・通信制高校への進学希望者の割合は5・7％で、前年同期より0・3ポイント上昇しました。（表10行目）

・就職等希望者の割合は0・2％で、前年同期と同率でした。（表14行目）

・全日制高校への進学希望者は53、196人で、前年同期より1、899人減少しました（中学校等卒業予定者数は60、491人で、1、711人減少）。

・全日制への希望者のうち公立高校への希望者は37、189人で61・5％、前年同期より1・6ポイント低下。

・私立高校への希望者は11、531人で19・1％、0・6ポイント上昇しており、前年同期に比べ私立が増加傾向。

・通信制高校への希望者は3、438人で5・7％、0・3ポイント上昇。通信制高校への希望者は年々増加傾向にあり、今回も増加。

進学希望者37、189人から内部進学希望者239人を除いた人数は36、950人で、転編入枠及び内部進学予定者を除く募集人員33、000人に対する割合（以下「倍率」という）は1・12倍で、前年同期より0・01ポイント低下しました。

県内公立高校普通科の進学希望者は29、611人で、募集人員に対する倍率は1・23倍。専門学科は0・80倍、総合学科は0・88倍となりました。

区分			令和8年10月1日現在 人数	令和8年10月1日現在 構成比	前年同期 人数	前年同期 構成比	前年同期との比較 人数	前年同期との比較 構成比
中学校等卒業予定者数			60,491 人	100.0 %	62,202 人	100.0 %	△1,711 人	
	高等学校等進学希望者		58,923 人	97.4 %	60,583 人	97.4 %	△1,660 人	0.0P
		全日制高等学校	53,196 人	87.9 %	55,095 人	88.6 %	△1,899 人	△0.7P
		県内合計	48,826 人	80.7 %	50,904 人	81.8 %	△2,078 人	△1.1P
		国立	106 人	0.2 %	138 人	0.2 %	△32 人	0.0P
		公立	37,189 人	61.5 %	39,267 人	63.1 %	△2,078 人	△1.6P
		私立	11,531 人	19.1 %	11,499 人	18.5 %	32 人	0.6P
		県外合計	4,370 人	7.2 %	4,191 人	6.7 %	179 人	0.5P
		定時制高等学校	768 人	1.3 %	740 人	1.2 %	28 人	0.1P
		通信制高等学校	3,438 人	5.7 %	3,339 人	5.4 %	99 人	0.3P
		高専・中等教育・別科	137 人	0.2 %	123 人	0.2 %	14 人	0.0P
		特別支援学校	1,384 人	2.3 %	1,286 人	2.1 %	98 人	0.2P
	専修学校等進学・入学希望者		123 人	0.2 %	98 人	0.2 %	25 人	0.0P
	就職等希望者		120 人	0.2 %	125 人	0.2 %	△5 人	0.0P
	その他の者		1,325 人	2.2 %	1,396 人	2.2 %	△71 人	0.0P
	進学希望校未定者		988 人	1.6 %	1,063 人	1.7 %	△75 人	△0.1P
再掲	高等学校等進学希望者＋進学希望校未定者		59,911 人	99.0 %	61,646 人	99.1 %	△1,735 人	△0.1P

■公立高校　学校毎の倍率で高倍率だったのは

学校別の倍率で、倍率が高い学科（県内公立高等学校全日制課程）は

■全日制普通科 ※〇は市立高校
〇市立川越　普通科　2・84倍
〇さいたま市立浦和　普通科　2・82倍
〇川口市立　普通科　2・70倍
上尾　普通科　2・32倍
大宮　普通科　2・24倍

■専門学科・総合学科 ※〇は市立高校
越谷総合技術　食物調理科　2・35倍
川越工業　電気科　1・98倍
新座総合技術　食物調理科　1・93倍
熊谷農業　食品科学科　1・70倍
〇川口市立　理数科　1・70倍

公立高校の進学希望状況を確認できる

学校別で希望状況を確認できるスマートフォン用閲覧フォームが公開されています。使い方を含め、確認してみましょう。

■公立高等学校の進学希望状況閲覧フォーム

■同閲覧フォームの使い方（埼玉県教育委員会からのお知らせ）（PDF）

その他、調査結果の詳細については、埼玉県のホームページを御覧ください。

2027年度（令和9年度）埼玉県内私立高校の動向

「将来の自分にとって価値ある志望校選択を！」

将来の自分にとって価値ある志望校選択をするためには、その高校のことをよく知る必要があります。私立高校はコース改編や募集人数の変更、選抜方法の変更をすることが多いので注意が必要です。

今年も多くの学校説明会や合同相談会、入試イベントが開催されていますが、受験生の皆さんにとっては、大事な学校情報を収集して進路選択の参考になっているのではないでしょうか。

さて、受験生の皆さんは12月中旬を目途に志望校を決定させて、入試へ一歩一歩と近づいていきます。

そこで、首都圏33万ユーザー以上が利用している検索サイト「単願ドットコム」と「併願ドットコム」のデータから、県内私立高校の閲覧状況を取り上げましたので紹介します。

初めに単願ドットコムと併願ドットコムで閲覧数が多い学校です。

【閲覧数TOP3】

1位：浦和実業学園
2位：浦和学院
3位：西武台

となっています。

1位は毎年受験者数が多い浦和実業学園です。夢や目標にあわせて選べる7つのコースがあり、生徒一人ひとりの希望にあった進路実現が可能な学校です。学習行事では、学力の育成とともに、協調性や思いやりの心を育む体験学習を実践しています。また、カフェ、図書館、ラーニングコモンズなど学習環境が充実しているのも特長です。

2位は国際基準の教育プログラムでもある国際バカロレア教育を取り入れたコースや、最難関国公立大への進学、国際教育、医療系や芸術系などに対応できコースがある浦和学院です。広大な敷地内に4つのグラウンド、人工芝サッカー場、図書館、体育館など、学習環境と運動施設が充実しています。

3位は2026年にコースの新設を含め、大幅なコースとカリキュラムの変更を行った西武台です。教育環境の整備と教育内容の充実に努めており、ICTを活用した英語検定対策やアクティブラーニング型授業などを積極的に導入しています。また、探究学習にも力を入れていて、大学や企業、研究機関と連携したフィールドワークや課題解決型学習を通じ、実社会で役立つ非認知能力を磨けます。

この3校は単願ドットコム、併願ドットコム共に人気となっています。それぞれの学校は部活が全国大会出場常連校という特長もあります。

このように閲覧数の多い学校は、特長的なコースがあり、部活も盛んな「文武両道」の学校が上位を占める結果となっています。

この他に閲覧数上位の学校としては、埼玉栄（さいたま市）、細田学園（志木市）、叡明（越谷市）、浦和麗明（さいたま市）、山村学園（川越市）なども検索されています。

2027年度入試では、公立高校入試においての変更があること、国による私立高校の実質授業料無償化の影響により私立志向が強まっていることなどから、埼玉県ユーザーからの閲覧数が全体的に伸びています。

いずれにしても、このような受験生の動向と埼玉県教育委員会から発表される「進路希望調査」を合わせて見ることで、志望校選択の際に有効な判断材料となることでしょう。私立高校では各学科に多様なコース、類型などを設けている場合があり、自分に適したコースの選択も重要な要件となります。来春の入試に向けて最新の情報を確認し「将来の自分にとって価値ある志望校選択」に努めましょう。

最後に上記の学校以外でエリア別での検索ランキングで上位にきている学校を紹介します。

【南部エリア】
栄北（伊奈町）
国際学院（伊奈町）
武南（蕨市）

【東部エリア】
春日部共栄（春日部市）
昌平（杉戸町）
花咲徳栄（加須市）

【西部エリア】
狭山ヶ丘（入間市）
聖望学園（飯能市）
埼玉平成（毛呂山町）

【北部エリア】
東京農業大学第三（東松山市）
正智深谷（深谷市）

監修：株式会社　リヴィジョン
新田　匡



A推薦の合格者は入学金が免除になります。
安部学院高等学校
〒114-0005　東京都北区栄町35-4　TEL. 03-3913-2323（代）
ホームページアドレス　https://www.abe-gakuin.ed.jp
学校のこともっと知りたい方へ説明会を行います！ぜひ体感してみて下さい
■個別学校説明会 ※土曜：14時～ 日曜：10時～
11/15（日）11/21（土）11/29（日）
12/5（土）12/13（日）※13日は個別相談会のみ
※予約制です。本校HPよりご予約ください。お電話でもご予約できます。（平日9時～16時）
※社会情勢により、日程変更・中止も考えられます。本校HPをご確認ください。



体験入学・個別相談 【予約制】全日程15:00開始
11月15日（日）11月23日（月・祝）
11月28日（土）12月5日（土）
上記日程以外にもイベントを用意しております。
詳細はホームページでご確認ください。
学校法人 豊昭学園
豊島学院高等学校
併設／東京交通短期大学・昭和鉄道高等学校
スーパー特進類型　特別進学類型　選抜進学類型　普通進学類型
〒170-0011　東京都豊島区池袋本町2-10-1
Tel :03-3988-5511（代表）最寄り：池袋／JR・西武池袋線・丸ノ内線・有楽町線 徒歩15分
副都心線C6出口 徒歩12分　北池袋／東武東上線 徒歩7分　板橋区役所／都営三田線 徒歩15分

中学卒業後に入学できる！ 夢をかなえる6専攻！


滋慶学園COMグループ
学校法人コミュニケーションアート
東京デザインテクノロジーセンター専門学校
TECH.C. 高等課程
〒169-0075　東京都新宿区高田馬場1-24-22　高等課程
0120-01-5586 FreeDial　受付時間 9:00～17:00
最寄り駅からのアクセスも安心！
●JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅（早稲田口）徒歩5分
●東京メトロ東西線 高田馬場駅（5番出口）徒歩3分

埼玉県公立高校入試

「面接」がすべての受験生を対象に

埼玉県の公立高校入学者選抜では、令和9年度入試からすべての受検生を対象に面接が実施されます。これまでの面接から形式が大きく見直され、新たな面接システムとして自己表現の時間である「My Voice（マイ・ボイス）」と、それに続く「質問・応答」の2つの時間で構成されることになりました。

「面接が全員必須になると聞いて不安」「何をどう準備すればいいのか分からない」と焦る人もいるかもしれません。しかし、県教育委員会が公表した制度の趣旨や試行事例を紐解くと、評価されるポイントは「綺麗なスピーチ」ではなく、「自分の歩みや思いを自分の言葉で誠実に伝える姿勢」であることがよく分かります。

新制度の具体的な内容と効果的な準備のアドバイスをしっかり整理していきましょう。

「My Voice」で大切なのは暗記ではない

まず導入される「My Voice」とは、受験生がこれまでの経験を振り返り、自分が力を注いだことや将来取り組んでみたいことなどを自らの言葉で発表する時間です。部活動や委員会活動、特技や習い事、地域ボランティア、あるいは将来の夢など、テーマは自由で正解もありません。

ここで特に知っておきたい重要なポイントは、原稿を一言一句丸暗記する必要はまったくないということです。無理に整った文章や立派な志望理由を用意しようとする必要もありません。

面接官が見ているのは、話し方のテクニックや上手さではなく、これまでの自分をじっくり振り返り、得た気づきや成長を自分の言葉で語れているかどうかです。失敗談や挫折から学んだ経験であっても、立派なアピールになります。

「自己評価資料」との関係と質問への対応

続いて行われる「質問・応答」の時間では、受験生があらかじめ提出した「自己評価資料」の記載内容や、「My Voice」で表現された情報を基に面接官から質問がなされます。

ここで多くの受験生が誤解しがちなのが、「My Voice」と「自己評価資料」の内容を分けなければいけないのかという点です。県教委の公式見解でも、「My Voice」は自己評価資料と必ずしも関連付ける必要はなく、逆に同じ内容に触れても全く問題ないとされています。「My Voice」で触れなかった項目についても面接官から質問されることがあるため、基本となる自己評価資料の振り返りもしっかり行っておきましょう。焦らずに自分の言葉で応答することが大切です。

効果的な練習法と伝わる話し方のパターン

それでは、事前にどのような対策を行っておけば良いのでしょうか。最も効果的な練習法は、自分の言葉で相手に伝える「アウトプット」の練習です。

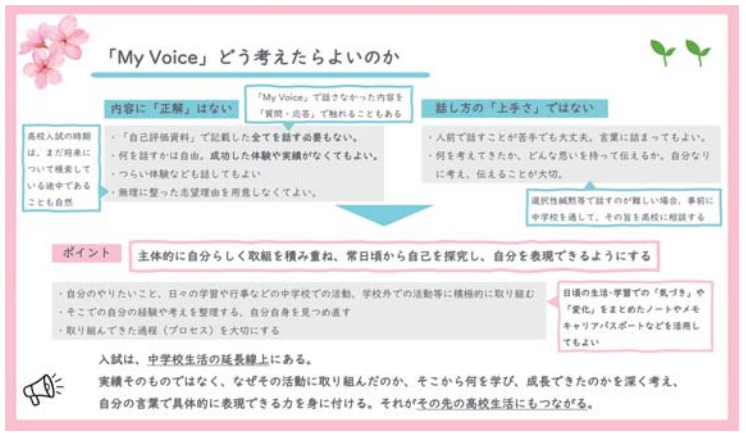
頭の中だけで「こう答えよう」と考えていても、いざ口に出してみると言葉に詰まってしまうことがよくあります。学校の先生や保護者の方、友人などを相手にして、自分の言葉で経験や思いを声に出して話す訓練を繰り返しましょう。話す順番の基本は、**「結論→具体的な体験談・エピソード→そこから学んだこと・将来への抱負」**という構成です。この流れを意識すると、聞き手にとって要点が明確になり、非常に分かりやすい印象を与えることができます。

完璧を目指さず「誠実な自分らしさ」を出そう

事前に想定していない問いに直面した際も焦る必要はありません。「完璧に答えなければ」と気負う必要はなく、一呼吸置いたうえで、素直な自分の考えを伝えれば十分です。途中で言葉が詰まったり言い淀んだりしても、それだけでマイナス評価になることはありません。

高校側の評価の焦点は回答の完成度ではなく「高校に入学したあと、意欲を持って誠実に学校生活を送ってくれる人物かどうか」という、受験生本人の人柄や情熱にあります。

埼玉県が公表している試行事例（ピアノや部活、生徒会、趣味の追求など）も参考にしながら、自分だけの歩みをゆっくり整理してみましょう。自信を持って、ありのままのあなたの思いを誠実に伝えてきてください。応援しています。





マークシート方式を導入。受検する時の注意点は？

埼玉県教育委員会は、令和9年度（2027年度）の公立高校入学者選抜から、全5教科でマークシート方式を導入することを発表しています。この変更は採点の迅速化と正確性の向上を目的としたものです。

解答方式は変わるものの、出題の基本方針や検査時間、難易度自体は従来通りとされています。

なお、国語の作文は出題されない方針です。また、一部の高校が実施する学校選択問題も、同様にマークシートと記述式の併用へ変更されます。

最新情報をしっかり把握し、今から準備を始めましょう。

マークシート方式の配点割合と主な変更点

配点比率はマークシート問題が全体の約9割を占め、残りの約1割が記述式問題となります。国語の作文が出題されない点は大きな変更ですが、文章読解や文法などの知識を問う形式は維持されます。数学や理科、社会、英語においても、選択肢から正解を選び塗りつぶす形式が中心です。ただし、数学の途中式や証明、英語の語句記入など、一部で記述問題が残る点には注意が必要です。

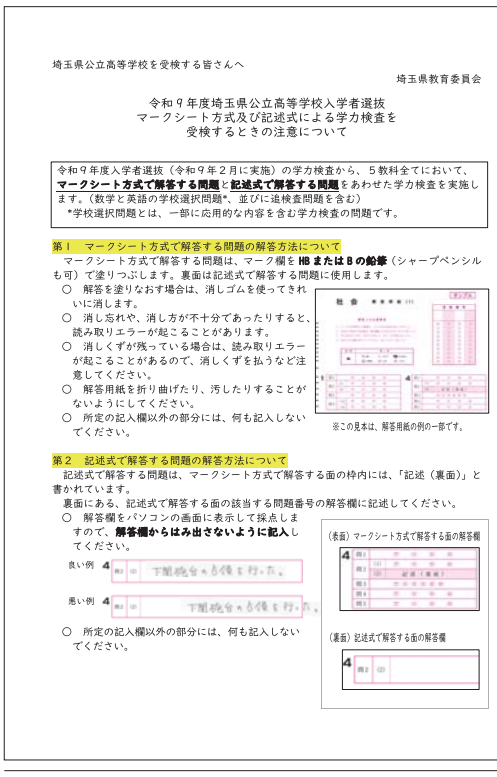
出題範囲や求められる学力の本質は変わらないため、まずは日頃の基礎学習を徹底し、知識を定着させることが対策の第一歩となります。早めに問題形式の雰囲気を掴んでおくと安心です。

ミスを防ぐ解答の注意点と効果的な対策

マークシート方式で最も注意すべきなのは、マークズレや塗り方の不備による失点です。濃く丁寧に塗りつぶすこと、消すときは消しゴムできれいに消し、消し残しを作らないことが基本となります。

また、問題を飛ばして解答する際の記入箇所のズレにも注意が必要です。対策としては、普段の模擬試験や過去問演習の段階からマークシート用の解答用紙を使い、時間配分や記入の感覚に慣れておくことが非常に効果的です。

県教委から公開されているサンプル問題やリーフレットも活用し、落ち着いて本番に臨めるよう、今から準備を進めていきましょう。


埼玉県公立高等学校を受検する皆さんへ

埼玉県教育委員会

令和９年度埼玉県公立高等学校入学者選抜
マークシート方式及び記述式による学力検査を
受検するときの注意について

令和９年度入学者選抜（令和９年２月に実施）の学力検査から、５教科全てにおいて、**マークシート方式で解答する問題**と**記述式で解答する問題**を あわせた学力検査を実施します。（数学と英語の学校選択問題*、並びに追検査問題を含む）
*学校選択問題とは、一部に応用的な内容を含む学力検査の問題です。

第１　マークシート方式で解答する問題の解答方法について

マークシート方式で解答する問題は、マーク欄を **HB または B の鉛筆**（シャープペンシルも可）で塗りつぶします。裏面は記述式で解答する問題に使用します。

○　解答を塗りなおす場合は、消しゴムを使ってきれいに消します。
○　消し忘れや、消し方が不十分であったりすると、読み取りエラーが起こることがあります。
○　消しくずが残っている場合は、読み取りエラーが起こることがあるので、消しくずを払うなど注意してください。
○　解答用紙を折り曲げたり、汚したりすることがないようにしてください。
○　所定の記入欄以外の部分には、何も記入しないでください。

※この見本は、解答用紙の例の一部です。

第２　記述式で解答する問題の解答方法について

記述式で解答する問題は、マークシート方式で解答する面の枠内には、「記述（裏面）」と書かれています。
裏面にある、記述式で解答する面の該当する問題番号の解答欄に記述してください。

○　解答欄をパソコンの画面に表示して採点しますので、**解答欄からはみ出さないように記入**してください。

良い例　悪い例

○　所定の記入欄以外の部分には、何も記入しないでください。

（表面）マークシート方式で解答する面の解答欄

（裏面）記述式で解答する面の解答欄



東京都　令和８年度　都立数学

1　次の各問に答えよ。

〔問１〕　$8+\frac{1}{4}\times(-6^2)$ を計算せよ。

〔問２〕　$\frac{a+2b}{3}-\frac{7a-b}{9}$ を計算せよ。

〔問３〕　$(1-\sqrt{5})^2$ を計算せよ。

〔問４〕　一次方程式　$7x+6=2x-9$ を解け。

〔問５〕　連立方程式　$\begin{cases} x+3y=1 \\ 2x+5y=4 \end{cases}$ を解け。

〔問６〕　二次方程式　$x^2+7x-8=0$　を解け。

解答

1　〔問１〕-1　〔問２〕$\frac{-4a+7b}{9}$　〔問３〕$6-2\sqrt{5}$
〔問４〕-3　〔問５〕$x=7, y=-2$
〔問６〕$-8, 1$

千葉県　令和８年度　公立数学

1　次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1)　次の①～③の計算をしなさい。

①　$11-4\times(-3)$　②　$2(4a-7b)+3(-3a+5b)$

③　$\frac{6}{\sqrt{3}}-\sqrt{27}$

(2)　土地Aと土地Bがある。土地Aは正方形であり，1辺が x mである。また，土地Bは長方形であり，縦が土地Aの1辺より3m長く，横が土地Aの1辺より2m短い。
このとき，次の①，②の問いに答えなさい。

①　土地Bの面積を x を用いて表すとき，最も適当なものを，次のア～エのうちから1つ選び，符号で答えなさい。

ア　x^2-6（m²）　　イ　x^2-x-6（m²）
ウ　x^2+x-6（m²）　　エ　x^2-6x+1（m²）

②次の「あ」にあてはまるものを答えなさい。
土地Bの面積が66m²のとき，x は［あ］である。

解答

1　(1)　①23　②$-a+b$　③$-\sqrt{3}$
(2)　①ウ　②あ　8

神奈川県　令和８年度　公立共通選抜数学

問１　次の計算をした結果として正しいものを、それぞれあとの１～４の中から１つずつ選び、その番号を答えなさい。（各３点）

(ア)　$-8-5$
1. -13　2. -3　3. 3　4. 13

(イ)　$-\frac{2}{9}+\frac{3}{4}$
1. $-\frac{35}{36}$　2. $-\frac{19}{36}$　3. $\frac{19}{36}$　4. $\frac{35}{36}$

(ウ)　$\frac{3x+y}{4}-\frac{2x-3y}{7}$
1. $\frac{13x-19y}{28}$　2. $\frac{13x-5y}{28}$　3. $\frac{13x+5y}{28}$　4. $\frac{13x+19y}{28}$

(エ)　$27a^2b\times4b\div6a$
1. $18ab^2$　2. $36ab^2$　3. $18a^2b^2$　4. $36a^2b^2$

(オ)　$(\sqrt{7}-3)^2+4(\sqrt{7}-3)$
1. $-3-10\sqrt{7}$　2. $4-2\sqrt{7}$　3. $14+2\sqrt{7}$　4. $15+10\sqrt{7}$

解答

(ア)　1　(イ)　3　(ウ)　4　(エ)　1　(オ)　2

入試問題に挑戦！

カコモン演習、進んでいますか？志望校合格へ一歩近づくために、埼玉以外の入試問題にも積極的に挑戦してみましょう！

受験生と保護者の 疑問 に答えます

キューアンドエー Q&A

専門家の先生が皆さんの疑問をズバリ解決！

回答者：教育ジャーナリスト

Q1 志望校の過去問題を解いてみたのですが、合格点に全然届きません。この時期に点が取れないということは、あきらめて志望校を変えたほうがいいのでしょうか。

A 過去問を解いて合格点に届かないと、不安になるのは当然です。しかしこの時期の点数だけを見て、すぐに志望校を変える必要はありません。一般に、志望校のランクを上げる決断は早いほうがよいですが、下げる決断はギリギリまで引き延ばしても大丈夫です。

質問の様子では、最近になって過去問を始めたようですね。最初から高得点を取れるのは、かなり実力のある人です。多くの受験生は、何年分も解き、さらに同じ問題を繰り返すうちに、その学校の出題傾向や問題の「クセ」に慣れ、少しずつ点数を伸ばしていきます。

過去問は、自分の力を測るためだけに使うものではありません。「どんな問題がよく出るのか」「時間配分はどうするか」「自分はどこで失点しやすいのか」を知るための教材でもあります。そこが分かれば、これから何を重点的に勉強すればよいかも見えてきます。

また同じ学校の問題を何度も解いておくと、本番でも「まったく初めての問題に挑む」という感覚が薄れます。形式や流れに慣れていれば、落ち着いて取り組めるはずです。

今は、合格点に届かなかったことを悲観するより、「何点足りなかったのか」「どの分野で落としたのか」を確認してください。その差を埋めるのが、これからの目標です。志望校を下げる判断は、もう少し先でも間に合います。今は過去問を味方につける時期です。間違えた問題は解説を読み、後でもう一度解いてください。できなかった問題ができれば、それが実力の伸びです。

Q2 面接試験で、準備してないことを聞かれたら、答えられないと思います。準備していないことを聞かれたら、どう答えるのが正解ですか？

A まず、想定される質問には自信を持って答えられるよう、しっかり準備して本番に臨みましょう。高校入試の面接で特に重要なのは、第一に「なぜこの学校を志望したのか」という志望動機、第二に「中学校時代に力を入れてきたこと」、第三に「高校に入ってから何を頑張りたいか」です。学校によって多少の違いはあっても、この三つは高校入試の面接における三大質問と考えてよいでしょう。

この三つについては、面接官も「当然、答えを準備しているはず」と考えて質問してきます。ですから、ここで答えに詰まると「本当にこの学校に入りたいのかな」と真剣さを疑われるかもしれません。まずは、この三大質問だけは自分の言葉でしっかり答えられるようにしておきましょう。

そもそも面接は受験生を困らせるために行うものではありません。わざと答えにくい質問をして失敗させようとしているわけではないので、必要以上に心配しなくて大丈夫です。

それでも、予想していなかった質問をされて、すぐに答えられないことはあるでしょう。そのときは、無理に立派な答えを作ろうとしなくて構いません。「よく分かりません」「そこまでは考えたことがありません」と正直に答えてもよいのです。

大切なのは、暗記した答えを完璧に再生することではなく、質問をよく聞き、自分の考えを自分の言葉で伝えることです。準備できることは十分に準備し、想定外の質問には落ち着いて、正直に答える。それが面接でいちばん大切な姿勢です。

Q3 第一志望の高校の倍率が、去年より上がっていてすごくあせっています。同じくらいの学力で倍率が低い学校に変えたほうが、やっぱり受かりやすいでしょうか？

A 非常に判断が難しい問題です。倍率だけを見れば、一般には倍率が低い学校のほうが合格しやすいと言えます。ただし、それだけで志望校を変えるのはおすすめできません。倍率は「何人受けて何人合格するか」という数字であって、受験者一人ひとりの学力までは表していないからです。

また、倍率は固定されたものではありません。たとえば第一志望のA高校の倍率が高いので、倍率の低いB高校に志望変更したとします。しかし、あなたと同じように考える受験生が大勢いたらどうなるでしょう。今度はB高校の倍率が上がり、反対にA高校は下がる可能性もあります。このように倍率は、自分ひとりの動きではなく、多くの受験生の動きによって変化します。

ですから、今発表されている倍率だけを見て、慌てて判断するのは危険です。去年より高いからといって、そのまま最後まで高いとも限りません。

大切なのは、倍率よりも自分が合格に必要な学力にどれだけ近づいているかです。模試の結果、過去問の得点、調査書などを合わせて考えましょう。

もちろん、同じくらい行きたい高校が2校あり、学力的にも大きな差がないなら、倍率を参考にするのはひとつの方法です。ただ、第一志望への気持ちが強いのに「倍率が高いから」という理由だけで変えると、後悔することもあります。

倍率は大切な情報ですが、最後の決め手ではありません。数字に振り回されず「その学校に行きたい気持ち」と「今の自分の力」の両方を見て判断してください。

Q4 苦手な英語を克服したくて時間をかけていると、得意な数学の過去問を解く時間がなくなって不安になります。苦手対策と得意教科はどういうバランスで勉強すればいいですか？

A はい、これはよくある悩みです。時間という限られた資源を、苦手教科と得意教科にどう配分するかは、多くの受験生が迷うところです。

苦手な英語に時間をかければ英語が伸び、合計点が上がるかもしれません。しかし、その分だけ得意な数学の勉強時間が減り、得点源が弱くなる可能性もあります。反対に数学ばかりやれば、英語がこれまで以上に全体の足を引っ張るかもしれません。

そこで、いったん「何時間やるか」という考えから離れてみましょう。「英単語を20個覚える」「英文問題を10題解く」「数学の過去問を大問2題やる」というように、時間ではなく量や内容で目標を決める方法です。これなら一方の教科に時間を取られ過ぎるのを防ぎやすくなりますし、「今日はここまでできた」という達成感も得やすくなるでしょう。

また、教科ごとに役割を決めるのもひとつの方法です。得意な数学は「積極的な攻撃」と考え、過去問や応用問題で高得点を狙う。一方、苦手な英語は「堅実な守り」と考え、基礎・基本を固めて大きな失点を防ぐのです。

もちろん、英語をあきらめるという意味ではありません。苦手教科ではまず最低限取るべき点を確保し、得意教科ではさらに上を目指すという考え方です。

受験は合計点で決まることが多いので、すべての教科を同じように勉強する必要はありません。時間、量、内容、教科の役割と、いくつかの見方を組み合わせることで、自分に合った勉強のバランスを発見してください。

受験に関するみなさんの疑問や不安を教えてください。
勉強法や志望校の選び方などをはじめ、受験で気になっていることならなんでも大丈夫！保護者の方の疑問もお寄せください。
※質問は紙面づくりの参考とさせていただくとともに、質問の一部を採用し、専門の先生が紙面やWEBページで回答します。
質問者多数の場合は編集部で選考、また同一内容の質問の場合は編集部で文章を加工する場合もあります。あらかじめご了承ください。

◀専用フォームはこちら



— 特別寄稿 —

授業料無償化で広がる選択肢 私立高でかなえる確かな未来

支援制度の拡充が私立高進学を後押し

受験勉強がラストスパートを迎える時期となりました。今後は最終的な志望校の絞り込みを、日々の学習と並行して行っていく必要があります。

その際に受験生と各家庭が注目すべき最大のトピックが、今年度から始まった「高校授業料の実質無償化」です。国の就学支援金制度が拡充されたことにより、全国授業料平均相当額である45万7，200円を上限に、所得制限なしで全世帯に授業料が補助されるようになりました。

国の制度に加え、埼玉県の全日制私立高に通う県内在住の生徒については、授業料以外の費用に対する県独自の支援も受けられます。世帯年収の要件を満たす場合、「施設費等納付金」に最大20万円、「入学金」に最大22万3，000円が支給されるほか、教科書代などに充てられる「奨学のための給付金」も用意されています。さらに、各私立高が設けている奨学金や特待生制度を組み合わせることで、家庭の費用負担は大幅に軽減されます。

これまでは「私立は学費がかかるから」と最初から志望校を公立に絞るケースも少なくありませんでした。経済的なハードルが大きく下がった現在では、質の高い教育環境を誇る私立高への進学が、これまで以上に現実的で魅力に満ちた選択肢となっています。

希望の進路をかなえる特色ある教育環境

生徒一人ひとりの目標や進路希望に応じた柔軟な教育を展開できるのが、私立高ならではの強みです。各校が画一的な枠組みにとらわれず、個々の可能性を最大限に引き出す多彩な学びの機会を提供しています。

自らの適性や将来の夢に合わせ、最適な学びの場を選べるのも私立高を進学先とする利点です。難関国公立大を目指す特進クラス、医歯薬系に特化したコース、語学力と国際感覚を磨くグローバルコース、理数分野を深掘りするコースなど、目標に直結する多彩なカリキュラムが設けられています。

また、系列大学への優先入学制度を持つ大学付属校もあり、根強い人気を集めています。最近では内部進学の権利を確保したまま他大学へチャレンジできる柔軟な制度を設けている学校も増えており、進路の可能性はさらに広がっています。

教育設備が充実している点も私立高が支持される要因の一つです。最新のICT機器を備えた教室、数多くの専門書を取り揃えた図書スペース、快適な自習室といった学習設備に加え、人工芝の広大なグラウンドや本格的なスポーツ施設など、各高校が勉強以外の活動にも全力で打ち込むための環境整備に力を入れています。

多様化する大学入試 私立高の高い対応力

高校進学はゴールではありません。県内高校生の多くが大学へと進学するようになっており、志望校選びの段階から3年後の大学受験を視野に入れておくことも大切になります。大学を選ばなければ進学できる「大学全入時代」に突入したとはいえ、難関大学への合格は依然として狭き門のままです。

大学入試の仕組みも一昔前とは一変しました。近年は当日の学科試験で合否が決まる「一般選抜」の定員枠が減少し、高校3年間の活動実績や学ぶ意欲を多面的に評価する「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」が拡大しています。国公立大については定員の大半を一般選抜が占める状況に変わりはないものの、私立大ではすでに入学者の半数以上がいわゆる「年内入試」を利用するようになりました。

入試が多様化して志望校に応じた対応が重要性を増す中で、それぞれの生徒の進路目標に合わせた対策に定評のある私立高の存在感が高まっています。国公立大や難関私立大の一般選抜を目指す生徒には、ハイレベルな演習授業や受験特化型の特別講座などを通して教科学力を徹底的に鍛え上げます。一方で、「年内入試」で大学を目指す生徒には、小論文や面接のきめ細やかな個別指導を行います。各高校が持つ指定校推薦枠を活用した進学についても、手厚いサポートを行っています。

私立高のカリキュラムでは日々の教科学習にとどまらず、さまざまな形の学びが用意されています。海外語学研修などのグローバル体験や、生徒が主体的に課題に取り組むアクティブ・ラーニング、探究学習など、思考力やプレゼンテーション力を育むプログラムも豊富です。高校時代の多様な経験は、特に大学受験の「総合型選抜」において何よりの武器となります。

高い現役進学率と充実の学習指導

私立高は現役での志望校合格を力強くサポートしており、こうした姿勢は実際の数字にも表れています。2025年3月卒の県内私立高生の現役大学進学率は83・3％に達しました。これは公立高の59・5％を20ポイント以上も上回る数値です。

難関大の合格実績でも、私立高は公立高に引けを取りません。大学通信が毎年行っている県内高校の合格者数調査では、「東大＋京大」「旧七帝大」「早慶」「GMARCH」といった難関大のランキング上位に数多くの私立高が名を連ねています。また、難関大への合格割合を見ても、国立大では両者に大きな差がない一方で、私立大については私立高が公立高をリードしています。私立高の進学力の高さは、客観的なデータにもはっきりと見て取ることができるのです。

また、合格実績の内訳を見ることにより、各高校の教育方針をうかがい知ることも可能です。国公立大や難関私立大の合格者が多い学校は、多数の生徒が一般選抜を目指すため、教科学力の養成に注力する傾向があります。中堅私立大への実績が目立つ学校は、「年内入試」を見据えた小論文や面接の対策を熱心に行うことが多く、探究学習に力を入れる学校も数多く見られます。

私立高の高い進学力を支えているのが、学校内で完結できる手厚い学習指導です。始業前の早朝補習や放課後の特別講座をはじめ、習熟度別・少人数制の授業で一人ひとりの理解度に応じた丁寧な指導を行っています。長期休暇中の勉強合宿や集中講座も盛んで、学校のカリキュラムだけで十分な学力が身につく仕組みが整っています。

1月の本番に向け着実な対策を

このように多彩な魅力を持つ私立高ですが、受験を目指す際は入試スケジュールが公立高とは異なることを確認しておきましょう。埼玉県の私立高入試は例年、1月22日・23日に主要な入試が行われます。公立の学力検査よりも1か月ほど早く本番を迎えるため、前倒しでの対策が欠かせません。

各私立高はその後も、1月下旬から2月、3月にかけて複数回にわたり独自入試を行います。私立高の入試制度には、その学校を第一志望とする「単願」と、他の学校も受験できる「併願」や「進学」などコース別に募集を行う学校も多数みられます。入試方式としては、学力検査を中心とする「一般入試」のほか、書類・面接・適性検査などで合否判定を行う「推薦入試」も用意されています。

受験のチャンスが複数回ある私立高に対し、公立高入試は一度きりであるため、確実に合格を得ようと志望校のランクを下げて安全重視の出願をする傾向が見られます。一方で、こうした選択は自らの未来や可能性を狭めてしまうことにもなりかねません。だからこそ公立高を本命とする人は、併願で「第2の第一志望」と思える魅力的な私立高の合格を確保しておくことが大切になります。納得のいく進学先があるという安心感は、プレッシャーのかかる入試本番での精神的な支えとなり、強気の姿勢で試験に挑むための原動力となります。

年明けの入試本番に向けて、最終的な出願校を決定するタイミングが迫っています。授業料の実質無償化で学費の壁は低くなり、選択肢に私立高を加えやすくなりました。これからの受験生は、校風や教育カリキュラムが自分の性格や目標に合っているかどうかを一番の判断基準として、高校を選択することができます。後悔のない有意義な3年間を過ごせる志望校を選んだ上で、合格に向けた対策を加速していきましょう。

大学通信情報編集部
松平信恭

2026年度 埼玉県の父母負担軽減事業補助金と国の就学支援金（全日制）

	年収目安	授業料補助金額			入学金補助金額
		国の就学支援金	県独自の補助	合計	県独自の補助
全日制高校	生活保護	457,200円	授業料全額ー国の就学支援金	授業料全額	223,000円
	家計急変	457,200円	授業料全額ー国の就学支援金		223,000円
	500万円未満	457,200円	—	457,200円	223,000円
	609万円未満	457,200円	—	457,200円	100,000円
	609万円以上	457,200円	—	457,200円	—
通信制高校	一律	337,200円	—	337,200円	—

※年収はモデル世帯（夫婦片働き、子供2人（高校生1人、中学生1人））の所得控除前の総収入における目安
実際の審査は世帯の市町村民税の課税所得をもとにした金額などに基づいて行う。
※実際に負担する授業料等が補助金額より少ない場合、実際に負担する金額が補助金額の上限となる。

じっくり考え、しっかり学び、たっぷり楽しむ充実した高校生活

埼玉の私立高校に行こう!

今年度から制度が拡充「所得制限なく授業料が実質無料化!」（国と県で最大103万円の学費支援）

通信制

越谷市	武蔵野星城	☎048-987-1094
飯能市	わせがく夢育	☎042-980-7940
川越市	霞ヶ関	☎049-233-3636

北部地区

深谷市	正智深谷	☎048-571-1065
	東京成徳大学深谷	☎048-571-1303
本庄市	本庄第一（通信制あり）	☎0495-24-1331
	本庄東	☎0495-22-6351
	早稲田大学本庄	☎0495-21-2400

南部地区

上尾市	秀明英光	☎048-781-8821
伊奈町	国際学院（通信制あり）	☎048-721-5931
	栄北	☎048-723-7711

南部地区

蕨市	武南	☎048-441-6948
さいたま市	浦和明の星女子	☎048-873-1160
	浦和学院	☎048-878-2101
	浦和実業学園	☎048-861-6131
	青山学院大学系属浦和ルーテル学院	☎048-711-8221
	浦和麗明	☎048-885-8625
	大宮開成	☎048-641-7161
	開智（通信制あり）	☎048-793-1370
	埼玉栄	☎048-624-6488
	栄東	☎048-651-4050
	淑徳与野	☎048-840-1035

東部地区

春日部市	春日部共栄	☎048-737-7611
加須市	開智未来	☎0280-61-2021
	花咲徳栄	☎0480-65-7181
越谷市	叡明	☎048-990-2211
	獨協埼玉	☎048-977-5441
杉戸町	昌平	☎0480-34-3381

西部地区

川越市	川越東	☎049-235-4811
	秀明	☎049-232-6611
	城西大学付属川越	☎049-224-5665
	城北埼玉	☎049-235-3222
	東邦音楽大学附属東邦第二	☎049-235-2401
	星野	☎049-222-4488
	山村学園	☎049-225-3565

西部地区

入間市	狭山ヶ丘	☎04-2962-3844
	東野	☎04-2934-5292
越生町	武蔵越生	☎049-292-3245
坂戸市	山村国際	☎049-281-0221
狭山市	秋草学園	☎04-2958-4111
	西武学園文理	☎04-2954-4080
志木市	慶應義塾志木	☎048-471-1361
	細田学園	☎048-471-3255
新座市	西武台	☎048-481-1701
	立教新座	☎048-471-2323
飯能市	自由の森学園	☎042-972-3131
	聖望学園（通信制あり）	☎042-973-1500
東松山市	東京農業大学第三	☎0493-24-4611
毛呂山町	埼玉平成	☎049-295-1212
嵐山町	大妻嵐山	☎0493-62-2281

※同一市内は50音順に表記しています

一般社団法人　埼玉県私学協会　TEL：048-863-2110

ys media

埼玉入試情報

令和9年度 公立高校入試の注目点
志望校決定の時、計画を立てて実行しよう

埼玉県教育局は、5月21日に「令和9年度公立高校の選択問題実施校」と「学力検査出題の基本方針、出題の範囲」、6月中旬に「入試募集人員」と「リーフレット」、7月に「入試実施要項」「各校の選抜基準」を発表した。夏休み前に、9年度入試の全容が出そろったことになる。県内外の私立高校も、9月には各校のホームページや説明会で入試の全容を発表している。

中学3年生の、1回目の進路希望調査結果が発表され、いよいよ志望校選定の時期が到来した。

学校説明会が定員制や予約制となっているケースもあるが、インターネット等も積極的に活用して各校の状況を調べ、志望高校を決定していってほしい。

志望校の決定は、12月中旬が目安

10月下旬に「令和9年3月の中学校卒業予定者の進路希望調査（10月1日付）」が県ホームページで発表された（本紙4ページ参照）。いよいよ、志望校決定の時期に突入したことになる。

また、10月1日には「受検生心得」が告知された。

入試日程、当日の時間割、携行品、実技検査（実施の場合）の日程・時間、面接日程・時間、受検当日の集合に関する注意、合格者発表の時間・方法などが記載されている。

合格発表は、3月5日午前9時からWEBの合否照会システムで行われる。

入試当日の携行品では、受検票、HBまたはBの鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、三角定規（直定規可）、コンパス、時計（計時機能のみ）、弁当、上履きなどとなっており、学力検査に必要ないもの（下敷き、分度器、色鉛筆、ボールペン、携帯電話、計算機等）の持参は禁じられているため、注意が必要だ。

また今年度の受検生心得には、感染防止対策の記載は見当たらない。しかし、入試までの期間のこまめな手洗いや検温をするなどの自主的な予防や、入試当日のマスクなどは準備しておこう。

健康に留意して万全の体調で入試に臨んでほしい。

調査書の内容は、通知書で保護者に公開

10月上旬に、埼玉県の公立中学校の校長先生方の会の進路指導の指針として、

①1・2年生の各教科の評定について、生徒・保護者から希望があれば伝えても良いこと。

②12月の中旬以降、本人からの3年次の調査書の評定の問い合わせには、口頭で伝えても良いこと。

③12月の最終授業日から2月1日の間に、調査書と同じ内容の「成績及び諸活動等の記録通知書」を保護者に通知すること。

などが各中学校に連絡されている。

受験する高校へ提出される調査書の内容は「通知書」で確認できるようになっているのだ。

また、12月中旬になれば、担任の先生は口頭で教えてくれる。

特別活動や部活の実績は、まとめておきたい

確認しておきたいことは、調査書の各教科の評定の数値だけではない。

校内外の活動については、自己評価資料に記入し志願先の高校に提出することになる。面接の参考資料として使われる。

部活の実績や校内での生徒会などの実績、各種検定や舞踊、書道、華道、茶道、囲碁、将棋など師範や段級位等の特技、あるいはクラブチームでの活動実績等は、あらかじめ自分で、まとめておいた方がよいだろう。

入試で大きなウェイトを占める調査書の「各教科の評定」の確定時期が迫ってきた。

定期テスト対策は無論だが、宿題の提出を忘れないことや、積極的に日々の授業に参加することを心がけて日々を過ごそう。

面接を怖がる必要はない

公立高校の入試では、全校で面接が行われる。

面接には「個人面接」または「集団面接」があるが、どちらになるかは既に、各高校の選抜内容で発表されている。

どちらも、提出済みの「自己評価資料」と、面接に先立って行われる1人ひとりの「My Voice（1分半～2分）」を基に質問や応答（3分半～6分）が行われる。

面接ではMy Voiceと質問・応答の内容が評価され、得点化される。共通選抜では、高校によって30点満点、もしくは60点満点で得点が与えられるのだ。

「自己評価資料」は得点化されない。必ずしも上手な文章でなくてもよいし、My Voiceと関連付けなくてもよい。自分の言葉で、自分らしく考え、自分の経験を言葉にして回答すればよいとされている。

例えば、部活や生徒会活動などで何を目標としていたのか、その結果どんな点で自分と仲間は成長したと思うか。家族はどんなことで応援してくれたのか。今後、高校に入ってどうしたいのか。などをまとめておきたい。

中学の公的テストや実力テストに全力を尽くせ

中学校では、実力テストや校長会テスト等のデータに基づく分析が進み、より確実な進路指導を受けられる環境が整ってきた。これらのテストは公立入試の出題傾向に準拠していることが多く、受検の模試として非常に有効だ。また、成績表に記載される偏差値などの指標は、私立高校の単願・併願の目安となることも多い。しっかり準備をして全力で臨んでほしい。

なおマークシート方式の解答形式においても、基本的な学習や問題文を丁寧に読み込む姿勢に変わりはない。焦らずしっかり解答すれば恐れることはないはずだ。

計画をたてて、無理なく実行しよう

公立高校の出願まであと2か月と少々、これから皆さんにやってほしいことは、計画を立てて、それを実行することだ。

自分なりの勉強のスケジュールを作ってほしい。

そして、強い意志で実行して行ってほしい。

学校や塾での勉強とは別に、自学・自習の必要があるということだ。

計画が実行できたなら、それは、受験だけに限らず、今後の皆さんの自信につながることになるだろう。準備しておこう

入試対策は、健康管理が重要な第一歩

急速に朝晩冷え込む時節になってきたが、入試当日だけでなく、今日から受験までの日々の、皆さん自身の健康管理も重要な入試の対策といえる。

インフルエンザや風邪も流行する季節に入る。無駄を省いて睡眠時間を確保すること。外から帰ったら消毒液等で手を洗い、うがいを忘れないこと。混雑する場所では体調に応じてマスクを着用することなど、基本的な予防を徹底しよう。

もし発熱や腹痛などの症状が出た場合は、無理をせず早めに医療機関を受診しておくと安心だ。体調を万全に整え、自信を持って本番を迎えてほしい。

（岩佐教育研究所　岩佐桂一）



TOKYO SEITOKU UNIVERSITY FUKAYA
JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL 2027



個別相談会
12月12日(土)
12月19日(土)
12月26日(土)

外部学校説明会・個別相談会
11月14日(土) 鴻巣会場 クレアこうのす
11月21日(土) 本庄会場 本庄市民文化会館
11月28日(土) 行田会場 行田市商工センター
10月31日(土) 熊谷会場 くまびあ

学校法人東京成徳学園
東京成徳大学深谷高等学校
〒366-0810
埼玉県深谷市宿根559
TEL048-571-1303(代表) https://tsfh.jp/



学校説明会（要予約）
11/14(土)

個別説明会（要予約）
11/14(土)
11/28(土)
12/26(土)

それぞれの「個性」 それぞれの「青春」
学校法人 武南学園 武南高等学校



臨海の定期テスト対策 中1～高2

テストと内申どちらも点数アップ!! わかるまでとことん指導します!!

万全の対策期間
定期テストの約2週間前から
各学校のテスト範囲に合わせたカリキュラムに切り替えて授業を実施します。

全範囲の総復習
全教科のテスト範囲をおさらい
できる十分な期間がありますので、抜け漏れのない復習ができます。

授業時間の拡大
土曜日・日曜日もプラス
して授業を実施します。なお、追加費用は一切かかりません。

クラスの再編成
学校別・単元別のテスト対策
を行うため、学校のテスト範囲に合わせたクラスに再編成して授業を実施します。

自習スペースの大開放
教室を自習スペースとして開放
していますので、思う存分勉強をしてください。
※使用可能な時間帯は教室によって異なります。

出題傾向と対策
テストで差がつく問題を厳選
するために、生徒からの聞き取り調査を通じて過去の出題傾向を分析しています。

52nd RINKAI★SEMINAR
臨海セミナー ☎048-643-4111

12/5(土) 中1・中2
人気の公開模試で自分の立ち位置を確かめよう!!
中学生 臨海公開模試